

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 5年 4月 1日

事業所名 クオリティスクール

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	29%	0%	71%	日によって変動があり、人数が多い場合は対応に困るケースがある。部屋数を確保することで対応している。
	② 職員の配置数は適切であるか	29%	57%	14%	日によって差がある。利用者の状況によっては足りなくなることも視野に入れ、適宜調整を行っている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	14%	43%	43%	集合住宅の一室を使用しているため、完全なバリアフリー対応には至っていない。
業務改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	71%	29%	0%	職員ミーティングを開催し、都度業務の newer 徳や方向性について話し合う機会を設けている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	ハード面での改善が困難な場合を除き、模索しながら改善に動いている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	ホームページに公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	86%	14%	0%	外部評価を受ける機会自体がほぼないが、客観的な意見を反映できるように対応、改善を行っている。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	100%	0%	0%	研修の機会が多く、自由に受けることのできる環境が整っている。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	100%	0%	0%	半年に一回の面談の機会、日々のコミュニケーションの中で保護者様のニーズに合わせた計画作成に努めている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%	0%	システムを用いて画一的な支援記録を行っている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	57%	29%	14%	学習に特化した事業所ではあるが、課外活動などにも積極的に参加している。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	86%	14%	0%	学習に特化した事業所ではあるが、課外活動などにも積極的に参加している。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	57%	43%	0%	学習のみではなく、校外学習や買い物学習などのカリキュラムも取り入れている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	43%	43%	14%	個別活動である学習と、集団活動である課外活動に適宜取り組んでいる。
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	57%	43%	0%	前日には職員の細かな配置を決定し、当日職員間で打ち合わせを行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	71%	0%	29%	全ての活動終了後、各職員の気づきを共有する時間を設けている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	学習内容の記録、パソコン学習の記録に分け、日々の記録を行っている。気づいたことは活動終了後に共有している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	半年に一回の計画の見直し、内容の変更を適宜行っている。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	83%	17%	0%	個別学習とパソコン学習を組み合わせた支援を行っている。	
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	当該利用者の状況を把握した事業所の管理者が参加している。	

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	83%	17%	0%	学校や保護者様、それぞれとコミュニケーションをとりながら確認を行っている。
---	--	-----	-----	----	---------------------------------------

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関 や保護者 との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	60%	40%	0%	過去に受け入れの例はないが、事業所には看護師の資格を所持した支援員が在籍している。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%	0%	当事業所を利用する就学前に福祉サービスを利用していたケースはほとんどないことが多いが、適宜状況の共有を行っている。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	50%	0%	これまでに事例がないが、弊社では就労継続支援事業や生活介護の事業展開も行っている為、ニーズに合わせた対応が可能となっている。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	専門機関との連携、助言を受ける機会が多く、密にコミュニケーションが取れている。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	33%	33%	33%	発表会を通じてダンススタジオに通う健常者との交流を図っている。
	㉕	協議会等へ積極的に参加しているか	50%	17%	33%	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	主に送迎時にお子様の様子を共有し、ご意見や困り感を把握することができている。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	17%	17%	67%	これまでに事例はないが、子育てに関する助言、今後の進路に関する助言を適宜行っている。
	保護者 への説明 的責任等	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%
㉙		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	主に送迎時にお子様の様子を共有し、ご意見や困り感を把握した上で助言、支援の方向性の共有ができている。
㉚		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	43%	43%	14%	コロナウィルスの蔓延も重なり、保護者様同士の交流の機会はなかなか作ることができなかったが、今後交流が図れるような様々なイベントを企画している。
㉛		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	苦情に対する窓口を設置し、意見の吸い上げに努めている。また、事業所に直接言いにくい案件に関しては第三者委員会を設けることで風通しの良い環境づくりに努めている。
㉜		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	86%	14%	0%	グループ全体でのおたよりは毎月発行され、保護者様との連絡ツール内で公開されているが、事業所単体での広報ツール作成も検討している。
㉝		個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	個人情報は鍵付きの書庫にて管理徹底している。
㉞		障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	口頭のみでの連絡は極力避け、LINEなどを用いて振り返りができるように努めている。
㉟		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	83%	0%	17%	昨年度は大規模なフェスを開催し、保護者様だけでなく地域の企業様や住人の方にも参加いただくことができた。今後も定期的に開催を予定している。
非常時 の対応	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	事業所の目的つく場所に掲示してはいるものの、保護者様への周知徹底はできていない。安心して通っていただくために保護者会などを通じて知っていただく機会を作っていく。
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	年に2回、地震・火事を想定した訓練を行っている。
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	100%	0%	0%	月に一回身体拘束・虐待防止に関する委員会を開催し、各事業所の担当者間で意見交換を行っている。
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	会社全体で説明の内容を統一し、同意を得ている。
	㊵	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	71%	29%	0%	過去に事例はないが、利用開始時にアレルギーの有無に関しての聞き取りを徹底している。
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	71%	29%	0%	ヒヤリハットの共有はできているが、事例集のような形での共有はできていない。過去の事例をもとに作成を行う。